

語り伝えよう 戦争の悲惨さ、 平和の尊さ

第二次世界大戦が終わって、今年8月で70年の節目を迎えます。戦争は、多くの悲しみや恐怖をもたらしましたが、今も世界の一部では紛争等が起きているのが現実です。

市では平成17年に「非核・平和都市」を宣言し、核兵器の廃絶と世界の恒久平和を訴えています。これからも次代を担う子どもたちへ平和の尊さを提唱していきたいと考えます。

戦争当時、山東西小学校に勤務する若き教師であった瀬戸川 庸さん（大鹿・96歳）に、お話を伺いました。

夫の出征

結婚して2年9か月後の昭和18年10月、夫に召集令状が届きました。夫は当時、息郷小学校に併設していた青年学校の教師でした。召集令状が届いて1週間ほど後、家の前に旗を立て、村のみんなで夫の出征を見送りました。紅葉の赤い色を今でも覚えています。

子どもを背負い、一度だけ夫に面会しましたが、その後は手紙が届いても、夫がどこにいるのか、わかりませんでした。

戦時中の暮らし

私の家は農家でしたので、戦時中もお米や野菜には不自由なく、辛い思いはしませんでした。ただ、砂糖は配給制で甘い物が食べられず、寂しい思いをしました。長引く戦争で食べ物も少なくなると、小学校の児童とともに運動場をさつまいも畑にしたり、道路のあぜに豆を植えたりしました。衣服はもんぺ姿で、嫁いだときにもつてきた着物で作りました。

空襲警報

昭和19年頃から大鹿にも空襲警報が発令されるようになりました。夜は光が漏れないよう電灯に黒い布をかけて、真っ暗な家の中で防空頭巾をかぶって潜んでいました。

終戦

昭和20年8月15日、お墓参りから帰った直後に終戦の玉音放送を聞きました。張りつめていた心が急に緩んだのか、ぼんやりと聞いていました。

昭和21年1月、夫の死亡告知書が届きました。お仏壇の前で一晩中泣いて泣いて、泣き明かしました。

復員兵が帰ってこられると「もしや夫がいるのでは」と、一人ひとりを見つめていました。干しておいた唐傘が風で飛ぶ音に「夫が帰ってきた！」と夜中に飛び起きたこともあります。「いつか夫は帰ってくる」という思いで、私は戦後の苦しさを生き延びていました。10年たつてようやく「夫は戦死した」と思えるようになりしました。

戦後の教育

終戦後、国の指導で国語・歴史の教科書の軍事的な内容をすべて黒線で消しました。「国のために尽くすことが一番立派だ」と今まで教えてきた教育方針は何であったのか、惨めさと悲しさで一杯でした。

ただ、何も分からない子どもたちがかわいそうで、何とか心の豊かさを培いたいと、放課後には毎日のように物語の読み聞かせをしていました。

現在、戦争体験者や被爆者の高齢化により、当時の被害や暮らしの話聞く機会が減り、戦争の記憶が忘れ去られようとしています。戦争の悲劇を再び繰り返さないためにも、どうしたら平和に向かっていけるのか、身近な人と一緒に考える夏にしませんか。





①



②



③

- ①村葬／戦死者が出た場合、小学校で盛大な村葬が行われ、村民総出で戦死者を悼むとともに、戦意を高揚させました。写真は昭和10年、醒井小学校で行われた村葬。
- ②醒ヶ井駅での歓送風景／満州事変が始まると各駅で出征兵士を盛大に見送りました。米原駅でも、上海事変に出征する郷土部隊の見送りで約1万人がホームを埋め尽くしました。写真は日中戦争期の昭和15年頃のもの。
- ③醒井の防空演習／日中戦争の開始に伴い、防空演習が本格的に実施されるようになりました。昭和18年頃から、各地でバケツリレーによる消火訓練が盛んに行われました。

米原市平和祈念式典を開催します

平和への願いを広く市民・国民・世界の人々に訴え、戦没者の慰霊とともに恒久平和のまちづくりを願い開催します。式典では、黙とうや戦争に関する作文の朗読があります。

日時 8月8日(土) 10時～

場所 米原公民館

また、戦後70年事業として市が行った「平和の折り鶴」と「平和へのメッセージ」に多数ご応募いただきありがとうございました。



折り鶴は約1万5千羽、メッセージは61人から100を超える応募をいただきました。折り鶴は、平和祈念式典で披露した後、広島、長崎に届けます。また、メッセージは今後の啓発活動に活用させていただきます。



「平和へのメッセージ」(一部抜粋)

- しみじみと 平和な日々感謝して
至福かみしめ 今日生きゆく
(柏原 70歳女性)
- 還りくる 兵士に熱き茶汲みたりし
米原駅ホーム 今も見つむる
(杉澤 86歳女性)
- 当時は神戸に住んでいました。生まれて3日目に空襲に遭い、母と倒壊した家の下敷きになっているところを助け出されました。(飯 70歳男性)

問 平和祈念式典に関すること 健康福祉部 社会福祉課 (山東庁舎) ☎ 55-8102 ☎ 55-8130
平和へのメッセージに関すること 総務部 総務課 (米原庁舎) ☎ 52-1552 ☎ 52-4447